



TITLE:

教育研究

AUTHOR(S):

---

CITATION:

教育研究. 瀬戸臨海実験所年報 1988, 2: 2-2

ISSUE DATE:

1988-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/178830>

RIGHT:

## 教 育 研 究

例年のとおり、京都大学理学部をはじめとする諸大学の臨海実習の実施、および外来研究者による施設利用があったほか、本年度は下記の研究会が開催された。

◦「第2回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：Professor Ju-shey Ho (California State Univ.), “Application of cladistics to copepod research”.

1986年8月14—15日。

◦「第3回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：Dr. Johann Hohenegger (Univ.

Wien), “Foraminiferids — protists of ancient and recent sediments”

1986年11月27日。

◦「第4回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：Professor J.H. Connell (Univ. California).

1986年11月27—28日。

ちなみに、第1回瀬戸海洋生物学セミナーは、1981年1月24日に渡辺浩教授（筑波大）の“ホヤ類における自己非自己の認識”と題する話題提供で開催した。

### 1. 臨 海 実 習

京都大学理学部生物系臨海実習Ⅰ	7.15—7.23	延	252人・日
京都大学理学部生物系臨海実習Ⅱ	3.15—3.23*	延	99人・日
京都大学理学部生物系臨海実習Ⅲ	3.23—3.30*	延	64人・日
京都大学大学院理学研究科化学専攻海洋実習	8.1—8.4	延	20人・日
和歌山大学教育学部生物学臨海実習	4.10—4.14	延	65人・日
岐阜大学教育学部生物学臨海実習	6.4—6.6	延	60人・日
和歌山大学教育学部生物学臨海実習	6.23—6.27	延	70人・日
大阪市立大学理学部生物学臨海実習	7.3—7.8	延	90人・日
大阪教育大学教育学部生物学臨海実習	7.23—7.28	延	132人・日
京都教育大学教育学部生物学臨海実習	8.7—8.12	延	24人・日
大阪大学理学部生物学臨海実習	8.18—8.23	延	102人・日
滋賀医科大学進学課程生物学臨海実習	9.1—9.4	延	116人・日
関西学院大学理学部生物学臨海実習	9.16—9.20	延	145人・日
金沢大学理学部生物学臨海実習	10.26—10.29	延	80人・日
計	京都大学	4件	延 435人・日
	他 大学	国立	8件 延 649人・日
		公立	1件 延 90人・日
		私立	1件 延 145人・日
総計		延	1319人・日

\* 1986年、前年度末に実施